



福岡医発第 2492 号 (地)

平成 26 年 12 月 12 日

各 医 師 会 長 殿

福岡県医師会

会長 松 田 峻一良

(公印省略)

平成 27 年度産業医学基本講座について (ご案内)

標記の件につきまして、産業医科大学産業生態科学研究所より通知がありましたのでご連絡申し上げます。

つきましては、貴会会員への周知方よろしくお願い申し上げます。

なお、本講座のすべての科目を履修された方は、日本医師会認定産業医の申請資格を得ることができます (修了認定後 5 年以内に申請)。

小郡三井医師会より

産業保健担当理事 権藤秀之
会長 廣瀬真恵

平成 26 年 11 月 吉日

公益社団法人
福岡県医師会 会長 殿

産業医科大学
産業生態科学研究所
所長 堀江 正知

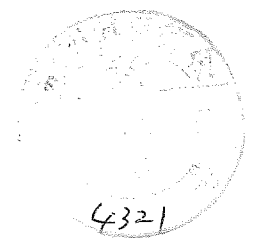
平成 27 年度産業医学基本講座受講案内の送付について

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より本学の運営に関しご高配を賜り誠にありがとうございます。

この度、平成 27 年度産業医学基本講座受講案内ができましたので、送付させていただきます。産業医活動に関心のある方々に広報いただければ幸いです。

敬具



産業医科大学が世界に誇る
講義・実習の講座を
専門的な産業医をめざす
あなたのために開講します

産業医学基本講座

受講のご案内

平成27年度

産業医科大学

産業医科大学が世界に誇る講義・実習の講座を
専門的な産業医をめざすあなたのために開講します。



産業生態科学研究所全景

開講要領

日程／平成27年4月3日(金)～5月14日(木)

場所／産業医科大学産業生態科学研究所 他

受講料／210,000円

受講資格／医師、歯科医師、修士の学位を持ち産業医科大学が認める者

願書提出先／産業医科大学大学管理課管理第2係

〒807-8555 北九州市八幡西区医生ヶ丘1-1

電話 093-691-7400、電子メール iiessyom@mbox.pub.uoeh-u.ac.jp

願書提出期間／平成26年12月1日(月)～平成27年2月6日(金)

概要

産業医科大学の教員と現職の産業医等が、産業医学の基本的な知識から産業医活動に必要な実践的な技術までを集中して提供する研修で、産業医学の専門的な研究と教育を推進する産業生態科学研究所が運営しています。昭和59年(1984年)、本学医学部第1回生の卒業に合わせて専門的な産業医を育成する卒後教育課程として設けられた研修ですが、平成8年(1996年)の労働安全衛生法改正に伴い、本学以外の卒業生も受講できるようになったものです。すべての科目を履修された方には、「産業医学ディプロマ(Diploma of Occupational Health)」及び「修了証」の証書が授与されます。これまで31年間に2,940人を超える医師等が受講し、約72%が修了しています。なお、例年10人前後は本学以外の卒業生が占め、本学卒業の産業医と交流を深めていただいています。

特典

すべての科目を履修した方には、次の特典があります。

- 1 産業医科大学が発行する「産業医学ディプロマ」(日英両語対応)及び「修了証」を取得できます。
- 2 労働安全衛生法に基づき労働安全衛生規則第14条第2項第1号の「産業医」の資格が得られます(医師に限る)。
- 3 国家資格の「労働衛生コンサルタント(保健衛生)」の筆記試験が免除されます(医師・歯科医師に限る)。
- 4 日本産業衛生学会専門医制度の資格認定試験受験資格の「体系的な基礎研修」を履修済みと認定されます。
- 5 日本医師会の「認定産業医」の申請資格が得られます(修了認定後5年以内)。

研修内容

産業医学の基本的な知識として、産業医の制度と関係法令、職業関連性疾患とその予防、疫学的な考え方等について、各分野の専門家がわかりやすく解説します。産業医活動に必要な実践的な技術として、作業環境測定と快適職場の形成、労働衛生保護具の使い方、職場巡視の進め方、健康管理と健康増進の実践、労働衛生管理体制の構築等について、講義に加えて少人数グループによる実習を行います。各科目の詳細は次の通りです。

体系的な講義

1コマ/90分

産業保健の基礎

6コマ

産業医の業務・専門性・教育、産業医学の課題、産業保健サービス提供組織、経営者・労働者と産業医学、産業医学の国際的視点

産業医制度と関係法令

7コマ

日本の産業医制度とその実態、労働基準法、労働衛生関係法令、労働衛生行政の方針とその展開、産業医に必要な労働者災害補償保険法の知識、我が国の自主的安全衛生活動と今後の在り方

総括管理とその基盤

(①情報の管理と活用)

5コマ

産業保健におけるデータベース・ネットワーク、健康情報の取扱い、産業医学研究の倫理、産業保健マーケティング

総括管理とその基盤

(②労働衛生管理体制・労働衛生教育及び職場巡視)

11コマ

産業保健活動のための組織、産業保健スタッフの職能、産業保健におけるリスク・ハザードへの対応、職場巡視の意義とその概要、労働安全衛生教育と産業医、適正配置、中小企業産業保健活動

総括管理とその基盤

(③労働安全衛生マネジメント)

6コマ

マネジメントシステム概論、健康管理手順のマネジメントシステム化、労働安全衛生マネジメントシステムの実践、内部監査と継続的改善

総括管理とその基盤

(④疫学)

9コマ

産業医学における疫学の役割、疫学概論、疾病頻度の測定、曝露の測定、記述疫学、コホート研究、症例対照研究Ⅰ、症例対照研究Ⅱ、疫学と因果関係における統計的問題

作業環境管理と快適職場

6コマ

概論・作業環境測定、サンプリング・評価値、粉じん職場、有機溶剤職場、環境改善の方法、騒音とその対策

作業管理

7コマ

職務と作業管理、ヒューマンエラー、疲労と睡眠、勤務時間、重量物取り扱いと手持ち工具、ワークステーションの設計、高齢者と労働

健康管理と健康増進

(①健康診断と事後措置)

3コマ

健康診断の実施計画、判定と事後措置、適正配置、有害業務(酸欠、ホルムアルデヒドなどの有毒ガス取扱い)

健康管理と健康増進

(②特定の労働者の健康管理)

2コマ

非感染性疾患(心血管疾患、糖尿病、COPD、がん等)、健康の保持増進

健康管理と健康増進

(③健康増進)

6コマ

事業場における健康増進活動の実践、健康教育・保健指導の実践、職場で応用できる様々な運動、職場のメンタルヘルス概論、メンタルヘルス不調者の職場復帰支援、職場におけるアルコール関連問題とその対応

職業関連性疾患とその予防

(①物理的要因、作業態様による健康障害とその予防)

5コマ

放射線概論、放射線障害の歴史(人体影響を含む)、放射線防護(ICRP)、放射線障害防止に関する法令、放射線安全取扱及び安全管理

職業関連性疾患とその予防

(②化学的要因による健康障害とその予防)

8コマ

産業中毒学概論、バイオロジカルモニタリング、変異原性と発癌性、発癌性を予測する短期試験、職業関連性呼吸器疾患、職業関連性皮膚疾患、職業関連性血液疾患、職業関連性神経疾患

充実した実習

1コマ/90分

実習1 作業環境管理・作業管理・疾病管理

15コマ

作業改善の実践、排気・換気装置の維持、性能検査、作業環境改善実習、職場の喫煙対策、じん肺胸写読影

実習2 健康管理・健康増進・メンタルヘルス

15コマ

THP実習、メンタルヘルス対策の企画・立案、質問紙による評価・データ解析、メンタルヘルス教育のすすめ方、リラクゼーションの理論と実践、職場環境改善の実践、積極的傾聴法

実習3 総括管理(疫学・職場巡視)

15コマ

産業保健活動の経済評価、企画作成、調査・まとめ・発表、統計演習、職場巡視の方法

演習

20コマ

特別に興味のあるテーマを持つ受講者は、各科目責任者の個別指導により、さらに詳細な学習を行うことができます

その他

各講義について、受講者による講義評価を実施し、産業医学基本講座の充実に役立てることとしています

講義・実習日程

1時限 8:50～10:20

/ 2時限 10:30～12:00

/ 3時限 13:00～14:30

/ 4時限 14:40～16:10

/ 5時限 16:20～17:50

区 分	I	II	III	IV	V	I	II	III	IV	V	I	II	III	IV	V	I	II	III	IV	V	I	II	III	IV	V							
第1週											4月1日(水)					4月2日(木)					4月3日(金)					4月4日(土)						
4月1日~4月4日																					産業保健の基礎 ①②③					産業医制度 と関係法令 ①		産業保健の基礎 ④⑤⑥			産業医制度 と関係法令 ②	
コ マ																																
第2週	4月6日(月)					4月7日(火)					4月8日(水)					4月9日(木)					4月10日(金)					4月11日(土)						
4月6日~4月11日	産業医制度と関係法令					総括管理と その基盤①		総括管理と その基盤②	総括管理と その基盤③	総括管理とその基盤②							総括管理と その基盤④	総括管理とその基盤③					総括管理と その基盤④									
コ マ	③	④	⑤	⑥	⑦	①	②	③	①	④	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑤	①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③		
第3週	4月13日(月)					4月14日(火)					4月15日(水)					4月16日(木)					4月17日(金)					4月18日(土)						
4月13日~4月18日	総括管理とその基盤④					作業管理					実習3		作業管理			実習3		作業環境管理と 快適職場			実習3		作業環境管理と 快適職場			健康管理と 健康保持増進①		健康管理と 健康保持増進②				
コ マ	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	①	②	③	④	①	②	⑤	⑥	⑦	③	④	①	②	③	⑤	⑥	④	⑤	⑥	①	②	③	①	②		
第4週	4月20日(月)					4月21日(火)					4月22日(水)					4月23日(木)					4月24日(金)					4月25日(土)						
4月20日~4月25日	健康管理と健康保持増進③					職業関連性疾患 とその予防①		職業関連性疾患 とその予防②			実習3		職業関連性疾患 とその予防①			実習3		職業関連性疾患 とその予防②			実習3		職業関連性疾患と その予防②			実習3		実習2				
コ マ	①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	①	②	⑦	⑧	③	④	⑤	⑨	⑩	③	④	⑤	⑪	⑫	⑥	⑦	⑧	⑬	⑭	⑮	①	②		
第5週	4月27日(月)					4月28日(火)					4月29日(水)					4月30日(木)					5月1日(金)					5月2日(土)						
4月27日~5月2日	実習2					(休講)					(休日)					実習2					実習1											
コ マ	③	④	⑤	⑥	⑦											⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦		
第6週	5月4日(月)					5月5日(火)					5月6日(水)					5月7日(木)					5月8日(金)					5月9日(土)						
5月4日~5月9日	(休日)					(休日)					(休日)					実習1										(休講)						
コ マ																⑧	⑨	⑩	⑪	⑫											⑬	⑭
第7週	5月11日(月)					5月12日(火)					5月13日(水)					5月14日(木)					5月15日(金)					5月16日(土)						
5月11日~5月16日	演習(補習)					演習(補習)					演習(補習)					演習(補習)																
コ マ																																

*受講者から個別に特段の申し出がない限りは、原則として、演習(補習)については実施いたしません。従って、5月8日(金)実習終了後修了式を行う予定です。

